

2023年8月31日

寄附を検討する事業内容について

NTTドコモ 経営企画部 サステナビリティ推進室

- 環境3分野(脱炭素、循環型社会形成、**生態系保全**)に対するアクションを設定し、2030年度目標を設定
- 生態系保全の主なアクションは「森林保全などの生態系保全活動の実施」

【Green Action Plan】

ドコモグループは、みなさまとともに自然と共生している未来の実現にむけ社会全体の持続的な発展と地球環境保全に貢献するアクションを実施します。

1. 通信ネットワークの省電力化、再生可能エネルギーの利用拡大、カーボンニュートラルに貢献する製品・サービス提供等により、温室効果ガス削減に取り組みます。
2. 製品・サービスの調達から廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通じて、資源を有効利用する取組みを推進します。
3. 事業活動および社員活動を通して、自然に寄り添い、生態系保全に関する取組みを推進します。

	主なアクション	指標	目標 (2030年度)
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量削減に寄与する技術の開発・導入とサービス・ソリューションの提供 ・再生可能エネルギーの導入推進 (再エネ指定の非化石証書購入含む) ・一般車両のEV化及び車両台数の見直し (ガソリン車の廃止促進) ・ネットワーク消費電力を削減する技術の開発・設備の導入 ・2030年カーボンニュートラル宣言の推進 	温室効果ガス排出の削減	カーボンニュートラル
		一般車両のEV化	100%
		通信事業の通信量当たりの電力効率	10倍以上 (2013年度比)
		社会の温室効果ガス排出量の削減貢献量	4,000万t以上
資源循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動の推進 ・携帯端末回収の促進 	廃棄物のリサイクル率	99%
生物多様性生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・森林保全などの生態系保全活動の実施 ・社員教育の推進 	生態系を保全するための活動の推進	生態系保全活動の実施

- 事業の形態等は問わず、広く自治体様の課題解決の方向性や手段をお伺いし、ドコモの環境保全3分野に関する以下の対応方針と合致する事業についてふるさと納税を検討致します。
- 特に生物多様性分野については、様々な自治体様とお話させていただきたく存じます。

生物多様性

脱炭素

資源循環

方針

- ・自然に寄り添う生態系保全に関する取組
※特に本分野での支援を重点的に検討

- ・再生可能エネルギーの積極的な活用
- ・ICTサービスや最先端技術によるCO₂排出量削減

- ・リサイクルの推進/仕組みづくり
- ・脱プラスチックの取組
- ・紙資源削減の取組

ドコモ取組例 (参考)

- ・ドコモの森での保全/環境教育活動
- ・多様なICTソリューションの生物多様性保全への活用

- ・ドコモショップや基地局のグリーン電力化（太陽光発電等）
- ・非化石証書等の購入
- ・ネットワーク装置や端末における環境配慮技術の積極導入
- ・一般車両のEV化

- ・使用済み携帯電話の回収～管理、リサイクル処理
- ・紙袋/パッケージの脱プラスチック化、水性インクの使用
- ・スマートフォン/アクセサリにおけるリサイクル素材の活用
- ・オフィス等での紙使用量削減、ドコモショップでのデジタルサイネージ設置、各種書類の電子化、キャッシュレス決済の推進

「上記方針と目的の重なる自治体様の取り組み」への企業版ふるさと納税実施を通して、先進事例の創出・創出されたモデルの横展開などに繋がる支援を目指したい

➤ 以降のスライドはこれまでのドコモの実施/検討事例の一部であり、**本事例以外のケースへの支援も広く検討いたします。**
ドコモは、**モバイルやICTの活用有無に関わらず、環境保全活動全般を支持します。**

生物多様性分野

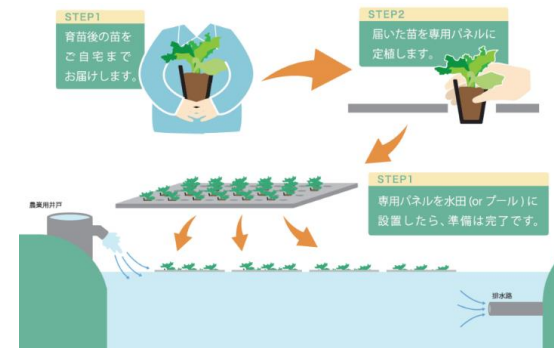
森林の保全・活用

ドコモ保有フィールド（ドコモの森）内での森林保全活動、社員教育への活用



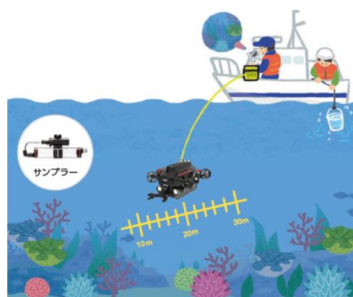
休耕地の活用

簡易で肥料を使わずに生産可能な次世代型の水耕栽培による休耕地等の水耕栽培転用 ⇒ 水が張られることで生態系の回復へ



サンゴ礁の保全

準深海域の調査におけるサンゴ礁エコシステムの研究支援



ビッグデータ化

生態系情報の収集、データベース化

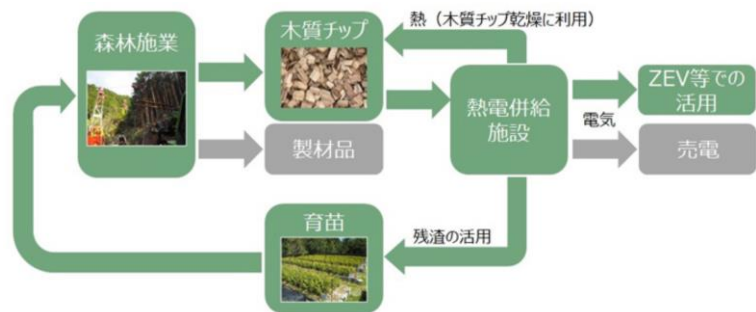
↓
生物の生息エリア分布や行動特性の把握

↓
保全活動等への活用、ノウハウの他地域展開

脱炭素

バイオマス発電

カーボンニュートラルなエネルギー供給の共同推進における
森林施業の効率化・バリューチェーン管理



環境配慮の見える化

人々が「どれだけ二酸化炭素排出量を削減したか」や
「環境配慮への貢献度」の“見える化”、市民/企業巻き込み型のモデル



資源循環

無駄な資源廃棄の回避

各種家電のレンタルによる利用、返却、再利用
⇒資源有効活用の循環



脱プラスチック素材

プラスチックを使用しない100%紙の袋への切り替え、
環境にやさしい水性インクの使用



➤ ご不明点や確認事項等がございましたら、以下の連絡先までご連絡いただけますと幸いです。

NTTドコモ 経営企画部 サステナビリティ推進室

社会貢献推進担当

cco@nttdocomo.com

担当：山本梨容子（やまもとりよこ） ・ 上村孝昭（うえむらたかあき）